

2013年3月期 第3四半期決算の概要



興銀リース株式会社

(証券コード:8425)

2013年2月5日

本資料には将来の予測数値が含まれております。こうした記述は、現時点における事業環境において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる可能性がありますのでご留意下さい。

I. 決算ハイライト

— 基礎収益力の向上により収益構造は着実に改善 —

【2012年12月期 決算概要】

○1Q 発生の大口径信用コスト負担が響いて営業利益以下、各段階利益は前年同期比、微減となるも、買収2社^(注)の安定的な収益貢献も加わり、基礎収益力は着実に向上

— 営業利益: 113億円(▲3.5%)、経常利益: 118億円(▲4.2%)、純利益: 69億円(▲6.3%)

— 償却前営業益: 147億円(+22.7%)、償却前経常益: 151億円(+20.1%)

(注) IBJL東芝リース(株)、東芝医用ファイナンス(株)

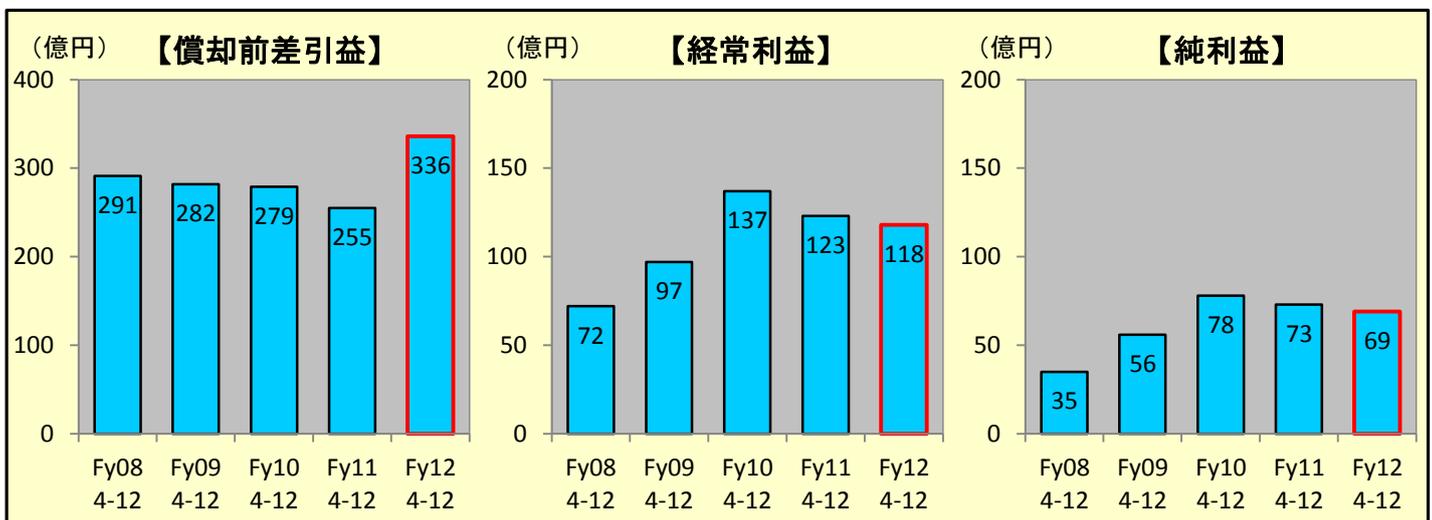
【2012年度計画進捗状況】

○営業利益以下の各段階利益は通期計画比75%強の進捗

【決算状況】

(単位: 億円)

	10/4-12	11/4-12 ①	12/4-12 ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①	12/通期 計画	通期進捗率 (9/12=75%)
売上高	1,921	1,871	2,617	+746	+39.8%	3,500	74.8%
売上総利益	236	220	287	+67	+30.1%	—	—
営業利益	132	117	113	▲4	▲3.5%	150	75.1%
経常利益	137	123	118	▲5	▲4.2%	155	76.1%
(信用コスト)	(9)	(3)	(33)	(+30)	(-%)	—	—
純利益	78	73	69	▲4	▲6.3%	90	76.3%
償却前差引益	279	255	336	+81	+31.6%	—	—
- // - 営業益	141	119	147	+28	+22.7%	—	—
- // - 経常益	146	126	151	+25	+20.1%	—	—
契約実行高	2,573	2,462	5,852	+3,390	+137.6%	—	—



Ⅱ. 損益状況

【第3四半期累計決算状況】

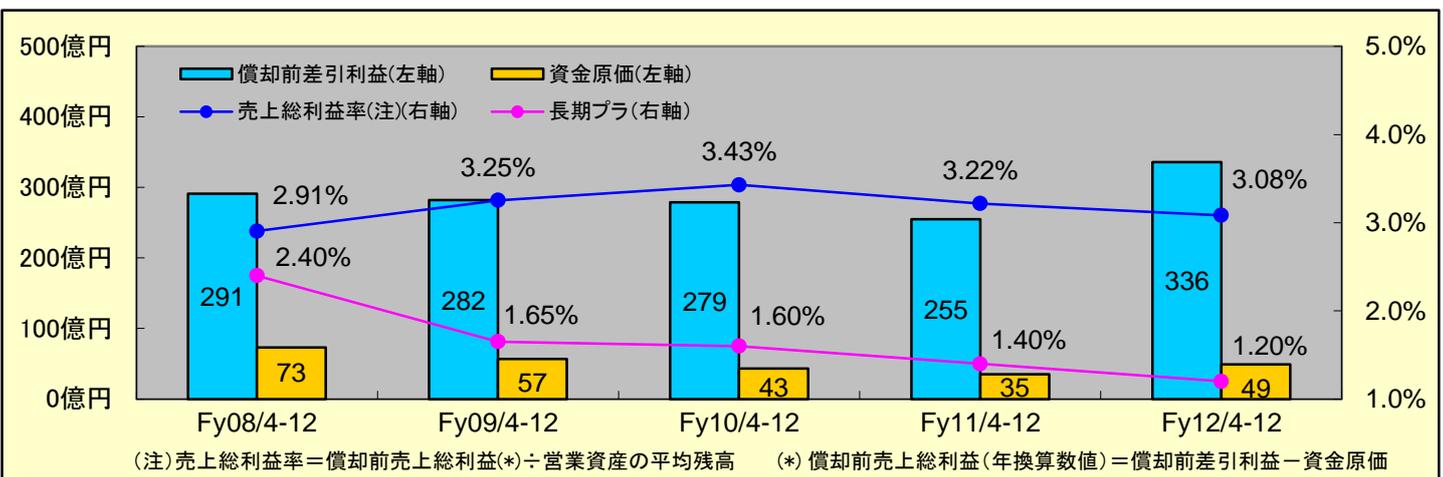
- 償却前差引利益: トップラインは買収効果も加わり前年同期比+32%増の336億円
- 総資金コスト: 買収により絶対額は増えるも調達レートは引き続き低水準で推移
- 一般経費: 増加分(+39億円)の大宗は買収2社の一般経費加算分
- 信用コスト: 1Q水準(35億円)から期中戻入もあり3Q累計では33億円と若干減少
→償却前経常利益+20%増益の151億円。(償却後)経常利益では4%減益の118億円

(単位: 億円)

	10/4-12	11/4-12 ①	12/4-12 ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①
経常収入 (a)	287	264	345	+81	+30.3%
償却前差引利益	279	255	336	+81	+31.6%
受取利息・配当	2	2	2	+0	—%
持分法投資利益	5	1	2	+1	—%
経常費用 (b)	151	141	227	+86	+60.4%
資金原価	43	35	49	+14	+41.1%
支払利息	3	2	3	+1	—%
一般経費	95	101	140	+39	+38.8%
信用コスト	9	3	33	+30	—%
経常利益 (a-b)	137	123	118	▲5	▲4.2%
(償却前経常利益)	(146)	(126)	(151)	(+25)	(+20.1%)
四半期純利益	78	73	69	▲4	▲6.3%

【売上総利益率】

低金利が継続する中、買収効果と収益性重視の対応等により同利益率は微減に留まる



Ⅲ. 財政状態

【資産サイド】

○営業資産は前期末比+566億円増加(+4.7%)の1兆2,679億円

— 物融資産:8,961億円(+287億円)、金融資産:3,718億円(+279億円)

(単位:億円)

	2011/3 末	2012/3 末 ①	2012/12 末 ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①
物融資産	6,407	8,674	8,961	+287	+3.3%
(リース)	(5,462)	(7,551)	(7,835)	(+284)	(+3.7%)
(割賦)	(945)	(1,122)	(1,127)	(+5)	(+0.4%)
金融資産	2,879	3,439	3,718	+279	+8.1%
(貸付)	(2,419)	(2,950)	(3,278)	(+328)	(+11.1%)
(営業投資有価証券)	(460)	(489)	(440)	(▲49)	(▲9.9%)
営業資産	9,286	12,113	12,679	+566	+4.7%
総資産	10,280	13,330	13,692	+362	+2.7%

【負債・資本サイド】

○有利子負債全体は前期末比+400億円増加(+3.5%)の1兆1,735億円

— 引き続き低金利メリットを享受すべくグループ会社においてもCP活用を積極化

— 更に調達手段の多様化を図るべく今期より社債発行(3年債:100億円、クーポン:0.34%)

○純資産は純利益の積み上がり等により前期末比+62億円の809億円

— 自己資本比率は前期末比+0.3%アップの5.6%

(単位:億円)

	2011/3 末	2012/3 末 ①	2012/12 末 ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①
長短借入金	5,173	7,216	7,019	▲197	▲2.7%
市場調達	3,603	4,119	4,716	+597	+14.5%
(うちCP)	(3,273)	(3,731)	(4,203)	(+472)	(+12.7%)
(うち社債)	(—)	(—)	(100)	(+100)	(—%)
有利子負債	8,776	11,335	11,735	+400	+3.5%
純資産	694	747	809	+62	+8.2%
(うち株主資本)	(687)	(712)	(764)	(+52)	(+7.2%)
自己資本比率	6.7%	5.3%	5.6%	+0.3%	—

IV. 営業状況

【契約実行高】

- 物融・金融分野共に大幅に増加し契約実行高全体では5,852億円(+3,390億円)
 — うち、大企業向け契約実行高は+2,547億円増加の3,777億円

(単位:億円)

	10/4-12	11/4-12 ①	12/4-12 ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①
物融分野	1,608	1,552	2,838	+1,286	+82.8%
リース	1,359	1,285	2,379	+1,094	+85.1%
割賦	249	267	458	+191	+71.8%
金融分野	965	910	3,014	+2,104	+231.0%
貸付	900	744	2,909	+2,165	+291.3%
営業投資有価証券	65	167	104	▲63	▲37.5%
合計	2,573	2,462	5,852	+3,390	+137.6%
(大企業向け)	(1,331)	(1,230)	(3,777)	(+2,547)	(+207.2%)

(参考)リース取扱高(2012年4-12月):前年同期比7.6%増(リース事業協会発表)

【物融分野の状況】

- 物融分野の契約実行高は各機種何れも増加し前年同期比+83%増の2,838億円
- ・産業工作機械:電機・自動車関連での設備投資を着実に捕捉
 - ・輸送用機器:復興関連に加え「エコカー補助金」効果による需要を取込み
 - ・土木建設機械:建機レンタル向けを中心とした国内復興需要の取込で中国での減少分をカバー
 - ・情報通信機器:IBJL 東芝リースによる底上げに加え大企業の大口更新需要を捕捉
 - ・医療機器:シーメンスとの営業連携に加え東芝医用ファイナンスが通期寄与

<物融分野の機種別契約実行高>

(単位:億円)

	10/4-12	11/4-12 ①	12/4-12 ②	増減額 ②-①	増減率 ②/①
産業・工作機械	434	253	918	+665	+263.6%
輸送用機器	204	234	319	+85	+36.5%
土木建設機械	208	264	295	+31	+11.7%
情報通信機器	304	365	585	+220	+60.2%
商業・サービス業用機器	191	171	191	+20	+12.0%
医療機器	75	85	204	+119	+139.7%
その他の機種	193	180	325	+145	+80.3%
合計	1,608	1,552	2,838	+1,286	+82.8%

V. 通期業績予想

【環境認識】

○米国「財政の崖」の一時的回避、円高・株安の修正、更なる金融緩和等、景気回復への期待感が高まるものの、先行き不透明感は引き続き根強い、との認識

【営業方針】

○「法人向けの総合金融サービスグループ」として持続的成長を図る

- ・顧客基盤と提案力を活かした事業展開を推進
- ・物融、金融に係わる顧客ニーズを幅広く捉えた優良資産の積上げ
- ・医療分野に加え、環境・エネルギー等、成長分野への取り組み推進
- ・中国、タイ、インドネシア等、アジア営業の一層の積極化

【通期業績予想】

○2012年度計画に対する第3四半期各段階利益の進捗状況からみて、通期業績予想は変更せず据え置き

【配当予想】

○中間配当(決議): 1株当たり@24円 (前中間比:同額)

○期末配当(予想): 1株当たり@26円 (前期末比:+2円増配予定)

○年間配当(予想): 1株当たり@50円 (前期比:+2円増配予定)→11期連続増配予定

【通期業績および配当予想】

(単位:億円)

	2011年度	2012年度			増減額 ②-①	増減率
	通期実績①	通期予想②	(進捗率)	4-12実績		
売上高	2,701	3,500	(74.8%)	2,617	+799	+29.6%
営業利益	107	150	(75.1%)	113	+43	+40.3%
経常利益	111	155	(76.1%)	118	+44	+39.3%
純利益	43	90	(76.3%)	69	+47	+109.4%
1株当たり配当金	48円	50円	(中間配当:実施済み) 24円		+2円	

【1株当たり配当予想】

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	増減額
				①	②	②-①
中間配当	20円	20円	22円	24円	24円	—
期末配当	20円	(4)24円	24円	24円	26円	+2円
年間配当	40円	(4)44円	46円	48円	50円	+2円

(注)カッコは、内数で創立40周年記念配当

以上

(参考) 四半期別損益の推移

(単位:億円)

	FY09				FY10				FY11				FY12		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
償却前差引益	95	92	95	86	97	92	90	87	87	87	81	110	120	116	100
資金原価	22	18	17	15	15	14	13	12	12	11	11	18	17	16	16
売上総利益	73	74	78	71	81	78	77	75	75	76	70	93	102	100	85
営業利益	28	29	34	22	42	41	45	23	41	45	30	▲10	18	57	38
経常利益	28	35	35	24	42	44	47	22	42	50	31	▲12	20	59	38
(実質信用コスト)	(13)	(14)	(14)	(16)	(7)	(5)	(▲4)	(13)	(▲3)	(▲2)	(7)	(57)	(35)	(▲2)	(0)
四半期純利益	16	22	18	14	22	26	30	12	25	28	20	▲30	9	34	26

